

# 会 議 議 事 録

1 会議名	令和5年度長岡市社会資本総合整備計画等事業評価監視委員会 【議題2：「長岡市中心市街地地区整備計画」及び「長岡の未来を創造する、魅力あふれるまちづくり」】（都市再生整備計画・市街地再開発事業）
2 開催日時	令和6年2月1日（木曜日） 午後1時30分から午後3時30分まで
3 開催場所	ミライエ長岡 5階 スタジオA・B
4 出席者名	<p>（委員）</p> <p>大塚悟委員長 柏原信幸副委員長 佐藤敏明委員 矢澤康子委員 佐藤佳代委員</p> <p>（事業説明者）</p> <p>・長岡市</p> <p>中心市街地整備室：西野まちなか政策担当課長、葦澤まちなか整備担当課長、鈴木ミライエ長岡整備担当課長、布川まちなか政策担当課長補佐、長谷川まちなか整備担当課長補佐、林ミライエ長岡整備担当課長補佐、橘まちなか整備担当係長、丸田主査</p> <p>都市政策課：渡邊課長補佐</p> <p>都市施設整備課：有賀課長、小柴都市整備担当係長</p> <p>（事務局）</p> <p>土木政策調整課：岡村課長補佐、櫻井係長、池澤主査 板橋主事</p>
5 議題	<p>(1)各整備計画の概要と実施状況について</p> <p>ア 上位計画の概要</p> <p>イ 各整備計画における支援制度の変遷</p> <p>ウ 計画に掲げた目標、指標</p> <p>エ 事業一覧</p> <p>オ 各事業の概要</p> <p>(2)事後評価にかかる審議(審議事項)</p> <p>ア 成果の達成度評価</p> <p>イ 事業の効果発現要因</p> <p>ウ 定量的指標以外の交付金事業の効果</p> <p>(3)今後の社会資本整備の方策にかかる審議(審議事項)</p> <p>ア 今後の社会資本整備の方策</p> <p>イ フォローアップ計画</p>

6 審議結果の概要	<p>議題(1)について 事業説明者より資料で説明し、理解を得た。</p> <p>議題(2)、(3)について 提案のとおり、承認された。</p>
7 審議の内容	
委員長	<p>「長岡市中心市街地地区整備計画」及び「長岡の未来を創造する、魅力あふれるまちづくり」の事業評価です。 市から説明をお願いします。</p>
中心市街地整備室ミライエ長岡整備担当課長補佐	<p>それではご説明します。 (資料により説明)</p>
委員長	<p>説明に対して、ご質問等がありますか。</p>
委員	<p>上位計画である中心市街地活性化基本計画では、30代以下のまちなか居住人口を目標にしているのに対し、整備計画の【指標4】では、中心市街地における居住人口を目標として「30代以下」という条件がなくなっているのはどういうことでしょうか。</p>
中心市街地整備室まちなか政策担当課長	<p>中心市街地活性化基本計画では若い世代をまちなかに呼び込みたいことから30代以下居住人口を目標にしていますが、住宅局の整備計画では住環境整備により、世代によらずまちなかの居住人口を維持することを目標としています。</p>
委員	<p>上位計画である中心市街地活性化基本計画の一つの目標として、「起業する人を増やす」と掲げていますが、起業後の追跡調査により、閉店状況、売り上げ状況等把握しているようであれば参考にお聞かせください。</p>
中心市街地整備室まちなか政策担当課長	<p>起業データを把握しているCLIP長岡からは、起業情報のみを取得しています。</p>
委員長	<p>午前中の道路計画の審議において、川西の幹線道路整備により宅地開発が進んだという説明がありました。郊外開発地に子育て世帯が戸建ての住宅を建てている印象ですが、中心市街地活性化基本計画と整合がとれていますか。</p>
中心市街地整備室まちなか政策担当課長	<p>居住ニーズが多様化する中で、中心市街地には4大学1高専の学生達を含む若い世代に、まちなかに来てほしい、住んでほしいという思いから、中心市街地活性化基本計画の目標に設定しています。</p>
委員長	<p>趣旨は理解しました。これからは民間活力を活用して、若者に魅力を感じてもらいまちづくりを検討していくのが課題だと感じます。</p>

委員	事後評価の結果、未達成の項目が多いことなどによって、今後の交付金の額に影響はありますか。
中心市街地整備室 まちなか整備担当課長	国の限りある交付金を活用できるように、事業の実施に努めています。
まちなか整備担当課 長補佐	<p>交付金の配分率については、国の予算と全国の自治体が要望する総額によって変動し、特に都市局や住宅局事業の場合は年度ごとの要望額の波が大きく、特に顕著に変動します。</p> <p>一方、事後評価はPDCAサイクルに沿い、住民に対し透明性をもった説明をすることが重要であり、客観的に妥当な評価の結果、仮に「×」がついたとしても、内示率に直接的な影響はないと認識しています。</p>
副委員長	まちなかに公園のような余裕がないように感じられますが、市の公園緑地の方針や計画はありますか。
都市施設整備課長	<p>人口減少に併せて、都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、公園の統合等を進めています。</p> <p>まちなかに新たな公園の設置は難しいですが、歩きたくなるまちづくり計画による整備と併せて、明治公園への誘導を図っています。</p>
副委員長	防災公園に位置付けられないような小さなまちなかの公園にも、防災時の一時的ながれき置き場等の機能を見出して、公園を増やすことはできないでしょうか。
都市施設整備課長	小さな公園は、町内会など地域の地区防災会議が一時的な避難所として活用しており、災害時の機能を果たしています。
委員	<p>ミライエ長岡のおかげで学生による活性化効果はあると思いますが、車を利用する人にとっては駐車料金がかかるため、来街意欲が低いようです。</p> <p>観光資源である花火の効果をまちなかの日常と結びつけるなど工夫をし、若い人達にとって魅力のあるまちづくりを進めていただきたいと思います。</p>
委員	<p>大手通りのイルミネーションはアオーレも含めて途切れずに一体性をもって実施するともっときれいで効果的だと思います。</p> <p>まちなか観光交流センター（仮称）整備事業は、市内の地域交流的な要素に関する事業という理解でよろしいでしょうか。</p>
中心市街地整備室 ミライエ長岡整備担当 課長	<p>都市構造再編集集中支援事業の事業要件に基づき、地域住民や観光者の交流の場となるような施設、あるいは観光情報を紹介する観光案内所というような位置付けの施設を整備しています。</p> <p>写真のミライエ長岡パッサージュウエストでは、市内のイベント等の情報ポスターの掲示や米百俵祭との連携イベントを開催しました。今後東館が完成すると、東館に整備する同機能を持った施設と連携し、一体的に大規模なイベント開催が可能になります。</p>

委員	まちなか図書館（仮称）整備事業、歴史人物史展示整備事業に関してですが、互尊文庫の由来や意義を来館者に分かっていただけのような工夫を行っていただきたいと思います。
委員長	中心市街地活性化基本計画や交付金の整備計画のような計画全体での評価の他に、市では個別の事業の評価はしていますか。
中心市街地整備室まちなか政策担当課長	個別の事業につきましては、まず各事業を所管している部署により評価し、その上で市全体で検討会議や予算編成の過程を通じて評価しています。
委員長	行政では、個別の事業ごとに評価を徹底し、事業のスクラップアンドビルドを重ねることで、複数の個別事業が連携してより効果が発揮されるような配慮が必要と感じました。 公共事業にあてはめて事業展開するだけでなく、若者が集まる民間事業についての調査やそれらに対する支援など民間活力を活用した地道な作業をしていただきたいと思います。
中心市街地整備室まちなか整備担当課長	民間の事業者からは、市内の大学生が在学中に中心市街地で活動することで、卒業後も長岡に残って新たな起業などにつながるのではないかと相談を受けています。民間のニーズの把握に努めます。
委員	子どもや企業によるミライエ長岡での活動の他に、若者による活動を紹介してください。
中心市街地整備室ミライエ長岡整備担当課長	31ページは、学生が企画した「ながおか若者マルシェ」の写真です。ミライエ長岡の整備によりこのような学生が盛んになっている印象です。
委員	35ページに多世代交流拠点整備検討調査事業とありますが、中心市街地の既存の公共施設である「まちなかキャンパス」や「子育ての駅ちびっこひろば」との交流など、既存の財産を活用して施策展開していただきたいと思います。
委員長	次に、(2) 事後評価に係る審議について、説明をお願いします。
中心市街地整備室ミライエ長岡整備担当課長補佐	(資料により説明)
委員長	それでは、審議に入ります。委員の皆様からのご意見・ご質問をお願いします。
委員	51ページ指標3「中心市街地内の起業数」について、評価値を平成29年から令和4年までの平均値で算出していますが、コロナの影響を考えると令和2年、3年は除外するという考え方もある

<p>中心市街地整備室 まちなか政策担当課長</p>	<p>のではないのでしょうか。 また、令和5年度の実績値を教えてくださいませんか。</p> <p>令和元年度から令和3年度はコロナの影響で除外する考えもあるかと思いますが、一定の評価ということでコロナの影響を除外する考えは今のところ持っておりません。また、令和5年の実績は今年の冬までで3件となっております。</p>
<p>委員</p>	<p>著しい減少ではないということで理解しました。指標1「中心市街地における1日あたりの歩行者通行量（平日）」について、計測を10月にしている考え方を教えてください。</p>
<p>中心市街地整備室 まちなか政策担当課長</p>	<p>比較的落ち着いた、異常値が出にくい時期として10月を設定しております。</p>
<p>委員</p>	<p>10万人の目標値に対して7割を切ってるような現状とすると、目標値が大きいのではないかと思うのですが、ご意見をお聞かせください。</p>
<p>中心市街地整備室 まちなか政策担当課長</p>	<p>歩行者通行量は、平成29年度に10万4000人となり久しぶりに10万人を超えましたが、その後コロナの影響で大幅に減少しました。全市的に人口減少となっている中で、今後目標設定する機会があれば、減少分も考慮する必要があると考えております。</p>
<p>委員長</p>	<p>指標1は目標値を達成できませんでしたが、その他指標1「歩行者通行量（休日）」は非常に大きな数字が出ており、ミライエの開館やイベントの再開などコロナ後の市の対策が効いていると思います。適切なその他指標を設定していただいたように思います。行政の取り組みだけで平日の人通りを回復することは難しいので、これをどう増やすのかが次の課題になると思います。</p>
<p>委員</p>	<p>中心市街地内の起業数というのは大手通りで店舗を構えてるという意味でしょうか。評価値5件に含まれる内容を教えてください。</p>
<p>中心市街地整備室 まちなか政策担当課長</p>	<p>大手通りだけでなく、中心市街地活性化基本計画区域内に店舗や事務所を置き、起業された方の数となっております。</p>
<p>委員</p>	<p>廃業については件数がわからないというお話でしたが、ぜひ起業したところが継続できるような、若い人たちを応援するような支援を行政民間含めてお願いします。</p>
<p>委員長</p>	<p>指標の評価につきまして、指標1は「×」、指標2は「○」、指標3は「×」、指標4は「○」、指標5は「○」、その他指標1は「○」、その他指標2は「○」となっていますが、ご意見があれば伺いたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>指標1ですが、「×」だと近年の傾向、改善が見られないとなっていて、一方で「△」は近年の傾向が改善していると認められるとなっています。この近年の解釈の仕方や、ミライエ開館の影響など今後の改善への期待値を見込んでよいのかどうか、この</p>

	<p>点についてはいかがでしょうか。</p> <p>近年の傾向ですが、交付対象事業期間外の傾向に対して比較することとなっています。直近では改善傾向にありますが、相対的に評価しております。</p>
中心市街地整備室まちなか政策担当課長	
委員	わかりました。
委員長	<p>他にご意見等ございますでしょうか。</p> <p>それではこの指標は妥当であると認めたいと思います。</p> <p>55ページに指標と各事業との関係を示す表がございますが、こちらも関連事業でございますので、この通り認めたいと思います。よろしいでしょうか。</p>
委員	はい。
委員長	では、(3) 今後の社会資本整備の方策にかかる審議について説明をお願いします。
中心市街地整備室ミライエ長岡整備担当課長補佐	(資料により説明)
委員長	ご説明いただいた内容について、審議に入りたいと思います。ご意見、ご質問等ございましたらご発言をお願いします。
副委員長	<p>まちなかにぎわいや未来を考えたときに、例えば子育てしやすい住環境と、園児の送迎のしやすさや公園の緑化などのソフト的な要素を合わせて人が増えていくことがあると思います。行政がハードに加えて、快適性を生み出すソフト面に取り組むことで、民間を引っ張っていくことも考えていただけたらと思います。</p>
中心市街地整備室まちなか政策担当課長	<p>当然ハード面を作って終わりではないので、ソフト事業については今後も引き続き取り組んでいく必要があると考えております。子育てのお話がありましたが、街の中で子育ての駅ができ、それが成功して各地域にも子育ての駅ができた事例もあります。まちなかがセンター機能となり、それを地域に循環していく役割があると思っています。</p>
委員	<p>今後東館ができてミライエが完成するというところで、中間段階での評価であると思いました。せっかく定着したミライエの機能や学生などの活動が工事によって阻害されないように、集客を落とさない工夫をぜひ行っていただきたいと思います。</p>
中心市街地整備室まちなか整備担当課長	<p>再開発事業は息の長い事業ですので、東館ができて10年ぐらいのスパンで評価するのがよいかと思っております。また、工事についても、既存の施設に影響がないような形で進めたいと思っております。</p>
委員長	<p>道路事業の評価では、郊外の道路網が整備されると住宅が郊外化する影響について説明がありましたが、一方で、中心市街地は</p>

	<p>空き地が増えています。したがって、中心市街地の住民を増やすには、中心市街地の居住環境を向上させる必要がありますが、費用を考えると難しい課題だと思いました。</p> <p>また、互尊文庫は活況があつて良いのですが、商業施設的なものが周辺にあると人が歩いて回遊するため、完成形に近づくと思っています。また、最近マンションが建っていますが、若い方より高齢の方が多く伺っています。若い人も入ってこられるような施策を考えていただいて、活性化していただきたい思います。</p> <p>他にご意見があればお願いします。</p>
委員	<p>まちが元気になるには、また長岡に帰ってきたいと思うようなまちになって欲しいと思います。中心部はドーナツ化現象でまちなかは高齢者世帯が多く、隣同士での支え合いもやっとしているような状況なので、若い世代が入っていただいて、見守り支援するまちづくりができると理想だと思います。魅力あるまちづくりは難しいなと本日の話を聞いて感じました。</p>
委員	<p>人口減少の中で、中心市街地に人を集めるのは難しいことだと思います。公共施設のまちなか移転後は、民間の力をいかに引き出すかにかかってくると思います。百貨店廃業などの変遷も経て、今後、ミライエが若者を中心とした発信拠点になるわけですが、いろいろな施設を点でつなぎ、ソフト事業の充実にも力を入れ、民間企業がお店を持ってきて人が集まる期待が持てる、にぎわいのある通りにしていかないと、起業があっても続いていけないと思います。ぜひここまで整備したまちなかの公共施設のソフト事業を、今後一層充実していただきたいと思います。</p>
委員	<p>公共施設等総合管理計画など、人口減少に見合うまちづくりとして見直しを図ってる中で、強化する分野に集中投資されるのは非常にいいことだと思っております。若い世代、様々な組織や人材を活用して、民間の力を発揮できるようなまちづくりを進めていただきたいと思います。</p>
副委員長	<p>学生と話していると人口減少で地元を何とかしたいという学生が多いので、災害が身近になってきている中で安定して住めるまちを目指しながら、長岡にU I ターンで戻ってくる魅力的なまちができると良いと思いました。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは今後の社会資本整備の方策について、認めたいと思いますがいかがでしょうか。</p>
委員	<p>はい。</p>
委員長	<p>以上で、今回予定の議事をすべて終了いたしました。</p>